

レイソルTOR モラージュ柏カップ開催!!



モラージュ柏×レイソルTORの大会は、9時30分から全9試合のリーグ戦を繰り広げた。スタート時の気温14度くもり、運動には適した天候だったが、昼前後に雨の予報が出ていたため、当初予定していた一試合10分のところ2分ほど短縮し進められた。

予選リーグ3位はレッドチーム、2位ホワイトチーム、1位ブルーチーム。リーグは、3位ピンクチーム、2位イエローチーム、1位グリーンチーム。今年大会は、37人が参加。新学年になつてからの初めての大会となった。

参加者をリーグ・Rリーグ各3チーム(全6チーム)に分け、9時30分から全9試合のリーグ戦を繰り広げた。

スタート時の気温14度くもり、運動には適した天候だったが、昼前後に雨の予報が出ていたため、当初予定していた一試合10分のところ2分ほど短縮し進められた。

予選リーグ3位はレッドチーム、2位ホワイトチーム、1位ブルーチーム。リーグは、3位ピンクチーム、2位イエローチーム、1位グリーンチーム。今年大会は、37人が参加。新学年になつてからの初めての大会となった。

参加者をリーグ・Rリーグ各3チーム(全6チーム)に分け、9時30分から全9試合のリーグ戦を繰り広げた。



優勝ブルーチーム



準優勝グリーンチーム

3位4位争いでは、ホワイトとイエローが対戦。イエローが不運にも体にボールが当たってオウンゴール。それが2回続いても、敵陣に攻め1点返したが、2対1でホワイトチームが3位と言う結果に。1位2位争いのブルーとグリーンでは、ブルーチームが2点と点を重ね、見事優勝を勝ち取った。11時20分には全試合を終了した。

入賞チームにはメダルが授与され、参加者にはモラージュ柏内で使用可能な商品券などの賞品が贈られた。

今後も大会は定期的に続けられる予定。

問合せ：04-7132-6326
レイソルTOR
ホームページ



レイソルTOR
ホームページ



「チームを勝たせるGKに」

佐々木雅士

昨季のファイナリストとして、再びルヴァン杯のタイトルへ挑む柏レイソルに新星が現れた。

ルヴァン杯第2節・浦和戦(3月27日)、ネルシニ監督が抜擢したのは18歳のルーキーGK佐々木雅士選手だった。プロデビュー戦となった佐々木選手だが、「代役などという意識は全く無かった」。

「今年加わった立場です。チームや応援してくれる人達に存在を認められた」という気持ちで、強くありましたが、緊張もせず、ごく自然に試合へ入れました。試合では「無失点で」と冷静に振舞った。

佐々木選手はこの浦和戦へ向かう練習の中で自分の先発が近いことを悟ったという。

「実は『出番が来るのかな』という日があって、その日に限って、普段はしないミスを出してしまいましたが、もう一度スイッチを入れて直して。その後の練習はうまくいっていったんです。『あの日があったよかったですか』と思いましたが、『はい、そうです』

浦和を相手に取り乱すことなく立ち向かい、DF陣と無失点でまとめてみせた佐々木選手。「無失点で」というマインドセットやメンタル的な安定もあつたが、チームメイトとの連携や今も研ぎ澄まされ続ける感覚が後押ししていたという。

「たくさんのコーチや先輩たちが声を掛けてくれました。『自分が決めたことが正解だぞ』と違って、その言葉が大きかったです。目の前に2人のCBがいて、相手のFWを捕まえにくくという状況はプロでもアカデミーでも一緒だと思つていて、どのようなシュートやボールが向かってくるのかは予測できていました。こちらが続いて、『...』ということば、GKのポジションを獲りに?』と尋ねると、屈託の無い表情で断言した。

「はい、そうです」

また、この日の佐々木選手に対しては、「飛び出すGK」との表現もなされてきたようだが、それを伝えている佐々木選手はこう切り返した。

「自分は少し違うタイプ



「飛び出すGK」は、飛び出したミスもありました。でも背後をケアできるようにしているつもりです。判断ス

「自分の愛は強いですよ、レイソル愛が!」

豊かな人間性と将来性を併せ持った新星が現れた。佐々木、未来を切り拓け。

(写真・文：神宮克典)

況に合った適切なポジションニングを繰り返すのが佐々木選手のスタイル。では、どのようなGK像があるのだろうか。

「次の番では前よりも安心感を感じてもらえるようになりたいです。気持ちを保つことも大切にしたいです。一度良いプレーができたからと、そこで立ち止まってしまうと台無しになってしまうので、メンタルを保ちながら、『チームを勝たせられるGK』になりたいです。それから」

GKの育成にも定評があるレイソルアカデミーでの競争を勝ち抜いて、頭角を現そうとしている佐々木選手。思考も冷静かつ興味深く、勝負運も見せた。しかし、その何よ

南流山 学童保育所がオープン 自分で考えて行動するチカラを育む ママズママ

南流山エリアに5月10日オープンするママズママは、「主語は自分」をテーマに、自ら考えて切り開くチカラを育むユニークな学童保育所。変化の激しい時代を生き抜くために、柔軟性、協調性などを伸ばす環境を日々の生活を通じて提供する。

「行動力が問われる無人島でも様々なバックグラウンドの人たちが集まるニューヨークでもつまらない。いつでもどこでもできるなら、口癖に『自分で考えて行動するチカラを育む』を口癖に考えたい。社会に属する一人の人間。ママズママでは子どもだからできないと考えてやらないのではなく、一人の人間として話を聞き、必要に応じて行動を見守りながらお子様とお付き合いしていきます。」と話す。

女性活躍が謳われて数年が経つものの、世界経済フォーラムが今年発表した男女平等度ランキングで日本は156か国中120位と、まだまだ女性が活躍しているとはいえない現状がある。工藤さんは、シングルマザーとして外資系メーカーでフルタイムで働きながらの子



https://www.mamazuma.com

gallery Ten→Sen 素材への敬意 「羊毛」北原のり子と「タイル」中村ジュンコ展

松戸市にあるギャラリースペース「ギャラリーテンセン」が、5月でオープン3周年を迎える。それを記念し、「羊毛」と「タイル」展を開催中だ。

「羊毛」と「タイル」という昔から人間の暮らしに欠かせなかった2つの素材の魅力を、それぞれの素材を代表する作家、北原のり子さん、中村ジュンコさんの作品を展示。

■展覧会
4月10日(土)～5月4日(火)
12時～19時(最終日のみ17時まで)
土・日・月・火 開催



※開催期間中は、作家による様々なワークショップあり。詳細はホームページを確認。

場所：同ギャラリー(松戸1339-1 天廣堂3F)松戸駅東口 徒歩4分

ホームページ

育て経験があり、「こういう学童保育所があったら」の思いを形にしたと話す。送迎サービスや買い物・クリーニングの受け渡し代行など働くママに嬉しいサービスも提供している。

なお、6月6日(日)には、ベルリッツと提携した大人向け英語教室も開講。「社会に必要なのは、何をどうしたら『伝わるか』をテーマにした一流の講師とシラバスでレッスンを提供する。」

(写真・文：土肥佳子)
MAMAZUMA
流山市南流山1-18-3
第二山崎マンション101
04-7179-5780
ホームページ



ホームページ